

# 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	松戸市家庭教育支援チーム (呼称:NPO 法人子どもとまつど) URL: <a href="http://kodomotto-matsudo.com">http://kodomotto-matsudo.com</a>
②活動拠点	千葉県松戸市内の市民センター、市民会館、市民劇場、公園など
③活動範囲	千葉県松戸市内
④組織体制	23 人 理事 5名 監事 2名 事務局 1名 活動会員 15名 旧称:松戸子ども劇場の役員と会員で構成されております。
⑤活動開始年度	1974年(松戸子ども劇場として発足)
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 渡辺 洋子 (TEL)047-344-2272 (E-mail)npo-mkg@cd.wakwak.com

## (2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他( )
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

【具体的な活動内容】

2022 年度活動実績

【子育て支援事業】

出張 おやこの広場・るーぷる(全4回 6月～2月 樋野口子ども館)



【子どもの体験事業】

・森であそぼう！(子どもゆめ基金助成活動)(全4回)



③活動内容

・私もパティシエ？(子どもゆめ基金助成活動) 3月 1回



・パラスポーツ ボッチャであそぼう！(子どもゆめ基金助成活動)2月 1回



・目が見えないってどんなこと？(障がい者との交流事業) 8・9月 2回

・耳が聞こえないってどんなこと？(障がい者との交流事業) 3月 1回

・〇っと！いっしょに体験隊(心のバリアフリー事業) 全5回 7～12月



- ・キッズ陶芸教室(青少年会館委託事業) 全 8 回 10～3 月
- ・落語名人になろう!(青少年会館委託事業) 全 6 回 9 月～11 月



- ・夏休みはあそびの基地 ～青少年会館へ～(青少年会館委託事業) 1 回
- ・座・子ども寄席 全 9 回 通年



- ・お正月を体験しよう! だだすこだんだん (松戸市子ども体験事業) 1 回
- ・人形劇団京芸 人形劇「火よう日のごちそうはひきがえる」公演 1 回
- ・松元ヒロソロライブ in まつど 1 回

**④活動の成果**  
(活動実績がある  
場合)

コロナ禍も 3 年が過ぎ、この間一度もマスクなしの素顔を見たことがなく、三密を避ける制限のなかで子どもたちの日々が過ぎていきました。そのような中でも、子どもたちがわくわくできることは何か、工夫とアイデアをこらし事業を続けてきました。「子どもたちにとって何が大切か」をもう一度原点に戻って考えて事業に取り組んではどうかとみんなで考えました。その結果、2022 年度は取り組むスタッフも、わくわくする企画のラインナップができました。

**⑤活動財源**  
(複数チェック可能)

- 文部科学省補助事業(事業名: )
- 文部科学省委託事業(事業名: )
- 厚生労働省事業(事業名: )
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施  
(子どもゆめ基金助成、郵便年賀寄附金助成)